



小学校カタカミライ科始まりました



1年生は、「つぎの1年生に堅上小学校のことをつたえよう！」を目標に、この1年間は探究活動を進めています。4月、入学当初の不安なことや、楽しみなことをみんなで話し合いました。その中で、お友だちも同じ気持ちだったことを知ることができました。この入学当初の不安だった気持ちを解決することが、つぎの1年生が不安なく入学できることにつながると考え、安心できるように伝えたいことをみんなで考えていくことにしました。

今後は、堅上小学校のよいところを集めるため、先生たちにインタビューしたり、学校内のたんけんしたりして、得た情報を整理していく予定です。そして、6月から使い始めたパソコンを活用して、まとめていきます。3学期の発表に向けて、少しずつ準備を進めていきたいと思っています。



2年生は、わたしたちが通う小学校がある堅上地区について調べていき、堅上地区の活性化を考え発信していくことをこの1年間で探求していきます。

1学期は、「堅上のまちについて知ろう！」をテーマに学習を進めています。4月に1年生と春みつけをしに小学校から里山公園まで歩く道中で、どのような施設や建造物があるかなどを確かめました。「これ知ってる～！」「神社は神様がおところやろ？」「JAって何するところなん？」と知っているようで知らないことも多く、たくさんの宿題を見つけて持ち帰りました。今は見つけた施設や建造物は何をするためのものなのかを調べているところです。今後、堅上小学校から堅上駅までも同じように歩く予定です。



3年生では、年間を通して柏原市の特産品であるぶどうづくりについての学習をします。

柏原市と言えば？「「ぶどう！！」」

みんなそう答えることはできますが、「どうやって作っているの？」「どんな種類があるの？」「なぜ、ぶどうが有名なの？」などなど、意外と知らないことだらけでした。浮かんだ疑問を手がかりに、ぶどうについて調べたり、農家さんに聞いたり、実際に仕事を体験させてもらったりしながら学習を深めることをめざします。

4年生は社会で大阪府について学習しています。たくさんの市があることを知り、その市には何があってどんなものが有名かなどを考えました。そんな中、自分たちが住んでいる市について考えたとき、3年生で学習したブドウはすぐに出てきましたが、話し合う中で、「それってどこにあるん？」など自分たちが知らないことがたくさんあることに気付きました。

そこで、柏原市についての調べ学習を始めました。まずは自分たちが調べてみたいと思ったものを出し合い、それらを分類・精査し、3グループに分かれて「柏原の有名な食べ物や飲み物」「大和川」「人口や有名な場所」を調べることにしました。調べたことをパワーポイントにまとめて発表し合う中で、「なぜ川の位置が変わったのか」「人口が減っている理由は？」などたくさんの疑問が浮かんできました。今後は出てきた疑問についてさらに調べ、柏原市の特徴について深掘りしていきます。

5年生は、社会の米づくりの学習から「日本米の魅力や消費量を増やす」という課題を設定しました。消費量が減った理由や米の魅力、米を使った人気商品、米を食べるメリットなどをインターネットや本を使って調べ、自分たちにできる消費量を増やす方法を探究しています。6月には、教育委員会やJAの方々から、お米づくりや田植えについてくわしくお話を聞いたあと、実際に苗を植えました。今回は、一人ひとりが2つずつバケツを用意しました。1つ目のバケツには、基本にしたがって1本の苗を植えました。もう1つのバケツには「こう植えたらどうなるだろう」と考えながら、それぞれが自由な工夫をこらして植えました。秋には、みんなで立派な稲刈りができることを楽しみにしています。これからも、子どもたちが育てている稲の成長を、温かく見守っていききたいと思います。



6年生は、SDGsとつなげて、自分たちの地域の自然に注目し、探究活動を進めています。

5年生で学習した、林業のことも思い出しながら、「この自然が未来に残るのか？」ということを考えました。インターネットを使って昔のこの辺りの森の様子を調べたり、実際に森に行き「なぜ？」を探したりしました。竹の性質や木の性質を調べながら、自分たちにできることにはどんなことがあるのかも考えていきます。

